

夏のコーナー展示「和歌山城天守閣 焼失」(7/14~8/26)

和歌山城天守閣に行こう

(和歌山城天守閣は、和歌山城内の山の上にあります。)

学校名() ()年()組 名前()

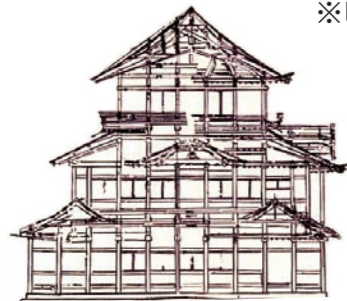


和歌山城天守閣は、一度目は、弘化3年(1846)に雷が落ちて燃えてしまいました。二度目は、昭和20年(1945)の和歌山大空襲で燃えてしまいました。現在の天守閣は、60年前に、市民の強い願いもあり、鉄筋コンクリートでほぼ同じ姿に再建されました。

正解の番号に○をしよう!

Q1. 雷で燃えてしまい、その後、再建するときには作られた設計図です。天守閣のどこの建物かわかるかな?

※ヒント 3階建て



- ①大天守
 - ②小天守
 - ③乾櫓
- (多門ケース10を見てね)

Q2. 空襲で燃える前に撮影された、天守閣(大天守)の中です。どこの階かな?

※ヒント 階段がーか所しかないね



- ①1階
 - ②2階
 - ③3階(展望)
- (多門ケース11を見てね)

Q3. 空襲で焼けてしまったものです。元は何の一部かわかるかな?

※ヒント 変わった模様が見えるよ



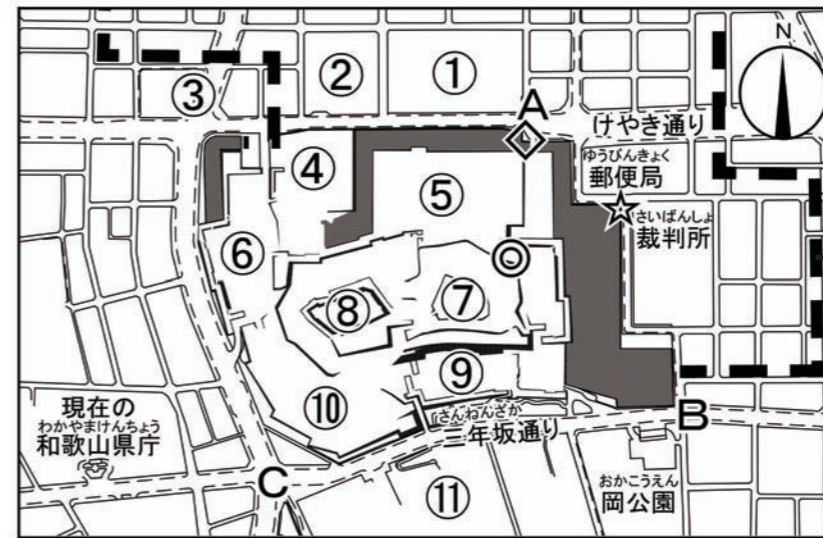
- ①石垣
 - ②屋根に使われていた瓦
 - ③天守閣の壁
- (多門ケース11を見てね)

和歌山城天守閣の記念スタンプを押してね

夏の企画展示「和歌山城の近代—明治維新以降のお城と城下町—」(7/14~8/26)

わかやま歴史館に行こう

(わかやま歴史館は、和歌山市役所の南側にあります。)



和歌山城周辺の地図



『和歌山城之春景』

Q1. 明治時代、和歌山城の所有者は軍隊(日本陸軍)で、今でも「陸軍省」と記された石碑が残っています。地図の3つのマーク(◇・◎・☆)のどこにあるでしょうか?

Q2. 展示前半(ケース1)を見て、当てはまる場所を地図の①~⑤から選んでみましょう!

- ()江戸時代、お殿様が住んでいた場所。政治や儀式が行われて和歌山を治める中心だった。
- ()明治時代の初めにお殿様が住んでいた場所。江戸時代はお殿様が趣味を楽しんでいた。
- ()明治時代の初めに政治が行われた新しい場所。それまでは乗馬や薬園に使われていた。
- ()明治時代、県庁が建てられた場所。現在地に移動するまで約60年間ここにあった。

Q3. 展示後半(ケース2)にある『和歌山城之春景』は、外側から和歌山城を見て描いたものです。どこから見た和歌山城なのか、地図のA~Cから選んで○をしましょう!

- <ヒント> A: 和歌山城の正門である大手門の前には、大きな橋があるよ!
 B: 江戸時代から残った門、岡口門のうしろには高い石垣が見えるよ!
 C: 高い石垣が横につながっていて、その上に天守閣が見えるよ!

和歌山城天守閣再建60周年記念スタンプを押してね